

2026 年度
名古屋大学大学院人文学研究科
博士前期課程
第 2 期 学生募集要項
〔一般入試・社会人入試〕

【アドミッション・ポリシー】

下記URLを参照してください。

<https://nuqa.nagoya-u.ac.jp/policies/m.html>

本研究科の出願手続きはインターネットを利用して行います。出願に必要なパソコンやプリンター等の機器、メールアドレス、顔写真データ、支払方法、提出書類等を確認してから出願してください。また出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。なお、インターネット出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

〈不測の事態が発生した場合の諸連絡〉

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、当研究科（学部）のホームページ上でお知らせしますので、最新の情報をこまめに確認するようにしてください。

○人文学研究科/文学部ホームページ

URL <https://www.hum.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学大学院
人文学研究科

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

名古屋大学では、自然災害等による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ホームページでご確認ください。

○本学ホームページ（入試案内＞入試情報を知りたい＞大学院入試＞検定料の特別措置（自然災害等による被災））

URL <https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/gs-exam/saigai/index.html>

人文学専攻

| 学 繫 | 教育プログラム | 分野・専門 | 前期 課程 | 後期 課程 |
|---|---------|--|----------|----------|
| 言語文化学繫 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、人間の文化の普遍的基盤である様々な言語などに関して、自らテーマを発見し、その緻密な分析を通じて、現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と、高い言語能力、異文化理解力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。 | 言語学 | 言語学 | ○ | ○ |
| | 日本語学 | 日本語学 日本語教育学 応用日本語学 | | |
| 英語文化学繫 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、英語という言語、および英語で書かれた文学などに関して、自らテーマを発見し、その緻密な分析を通じて、現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と、高い言語能力、異文化理解力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。 | 英語文化学 | 英語学 英米文学 英語教育学 | | |
| 文献思想学繫 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、人間の文化の普遍的基盤である東西の文学、古典、そして哲学・倫理に関して、自らテーマを発見し、その緻密な分析を通じて、現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と、高い言語能力、異文化理解力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。 | 西洋文献学 | ドイツ語ドイツ文学 ドイツ語圏文化学 フランス語フランス文学 | | |
| | 東洋文献学 | 日本文学 中国語中国文学 | | |
| | 哲学倫理学 | 哲学 西洋古典学 中国哲学 インド哲学 | | |
| 超域人文学繫 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、映像、メディア、表象文化、移民・マイノリティ、ジェンダー、東アジアと日本の文化など学際的な問題について自ら課題を発見し、多角的なアプローチによる資料や対象の分析に基づいて、これを解明する能力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。 | 超域人文学 | 映像学 日本文化学 文化動態学 ジェンダー学 メディア文化社会論 | | |
| 歴史文化学繫 大学教員、高校教員、学芸員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、世界の諸地域における人間の歴史的・文化的な営みについて、文献史料・美術作品・物質資料、民族誌資料等の厳密な分析とフィールドワークに基づいて、自ら課題を発見し、オリジナルな視点からこれを解明する能力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。 | 歴史文化学 | 日本史学 東洋史学 西洋史学 美学美術史学 考古学 文化人類学 | | |

※G30 国際プログラム群 言語学・文化研究プログラムと「アジアの中の日本文化」プログラムの学生募集は、別途実施します。

1. 出願資格

一般入試

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

社会人入試

次の(1)～(9)のいずれかに該当し、大学院入学時までに通算2年間以上の社会経験（民間企業、官公庁、学校教育機関、自営業、家事、ボランティア活動などの経験。ただし、研究生および大学院学生としての期間は含みません。）を有する者

- (1) 日本の大学を卒業した者または2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項第1号の規定より学士の学位を授与された者または2026年3月31日までに授与される見込みの者【注1】
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者【注2】
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達した者【注3】

【注1】 (2) について短期大学及び高等専門学校の特攻科を2026年3月31日までに修了見込みであり、かつ、学位授与機構から学士の学位が授与される見込みである者は、文系教務課内 人文学研究科入試担当あて照会してください。

【注2】 出願資格の(4)に該当する者は、26ページを参照し、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2025年10月23日（木）午後4時必着で必要書類を郵送してください。

【注3】 (9) により出願しようとする者は、26ページを参照し、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2025年10月23日（木）午後4時必着で必要書類を郵送してください。

2. 専攻及び募集人員

| 専攻 | 学繋 | 教育 プログラム | 分野・専門 | 募集人員 |
|-----------|--------|-------------|--|-------|
| 人文学 専攻 | 言語文化学繋 | 言語学 | 言語学 | 104 名 |
| | | 日本語学 | 日本語学, 日本語教育学, 応用日本語学 | |
| | 英語文化学繋 | 英語文化学 | 英語学, 英米文学, 英語教育学 | |
| | 文献思想学繋 | 西洋文献学 | ドイツ語ドイツ文学, ドイツ語圏文化学, フランス語フランス文学 | |
| | | 東洋文献学 | 日本文学, 中国語中国文学 | |
| | | 哲学倫理学 | 哲学, 西洋古典学, 中国哲学, インド哲学 | |
| | 超域人文学繋 | 超域人文学 | 映像学, 日本文化学, 文化動態学, ジェンダー学, メディア文化社会論 | |
| | 歴史文化学繋 | 歴史文化学 | 日本史学, 東洋史学, 西洋史学, 美学美術史 学, 考古学, 文化人類学 | |

※第1期試験及び第2期試験を合わせた募集人員は、一般入試及び社会人入試を含めて104名です。

※分野・専門の内容および指導可能領域については人文学研究科ホームページを参照してください。

(<https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/about/about-sub2/>)

3. 出願手続

出願手続は、インターネット出願システムでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な出願書類などを提出することにより、完了します。

インターネット出願での出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。

なお、支払い期限は出願登録日を含め4日間です。支払い期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。(キャンセルとなったときは再登録してください)

※払込締切日までの日数が4日より短い場合は、払込締切日が優先されます。詳細は9ページ

6. 入学検定料の払込方法を参照してください。

出願者は、5. 出願書類等(1)～(11)の書類等を文系教務課内 人文学研究科入試担当へ出願期間内に届くように提出してください。出願書類の完備しない願書は受理しません。

◎ 注 意 事 項

- (1) 出願書類の郵送は、インターネット出願システムから印刷する「出願用宛名用紙」をカラーで出力し、角形2号の封筒に貼りつけて、締切日時までに必着するよう送付してください。

詳細については、17ページ「STEP 6 (必要書類の印刷と郵送)」を確認してください。海外からは追跡のできる方法で送付してください。

- (2) 出願後は記載事項の変更及び検定料の払い戻しはしません。

4. 願書受付期間

2025 年 12 月 8 日（月）から 12 月 12 日（金）午後 4 時（日本時間）までとします。

書類の出願は郵送に限ります。出願書類の持参及びメールでの出願はできません。

必ず簡易書留速達郵便（海外からは追跡のできる方法で発送し、送り状や封筒の表に「人文学研究科博士前期課程入学試験出願書類在中」と朱書きしてください。）とし、期間内〔12 月 12 日（金）午後 4 時（日本時間）まで（郵送必着）〕に到着するよう送付してください。期間後到着分は受理しませんので注意してください。海外から郵送の場合も出願期間内に到着するように準備してください。また、出願受付期間に提出された 5. 出願書類等に不備がある場合、受理しません。出願書類の到着についてはこちらから連絡はしません。

※インターネット出願登録期間および入学検定料払込期間

2025 年 11 月 24 日（月）から 12 月 9 日（火）午後 3 時（日本時間）まで

- ・インターネット出願については、14 ページ 13. インターネット出願の流れを参照してください。
- ・入学検定料の払込については、6. 入学検定料の払込方法を参照してください。

5. 出願書類等

インターネット出願以外の所定用紙は、以下の人文学研究科ホームページからダウンロードし、A4 判用紙に片面印刷のうえ履歴書、出願書類チェック表は黒ボールペンで記入してください。

(<https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/examination/examination-sub4/>)

所定用紙を印刷できない場合は、文系教務課内 人文学研究科入試担当までご相談ください。

| | 出 願 書 類 等 | 注 意 事 項 |
|-----|--------------------|---|
| (1) | 名古屋大学大学院入学志願票及び写真票 | 〔インターネット出願システムから出力されたものを、A4 サイズで片面カラー印刷してください。〕 ※出願前 3 か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。写真は本人確認のため修正・加工はしないでください。 インターネット出願システムに入力した住所に合格通知を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課内 人文学研究科入試担当までご連絡ください。 |
| (2) | 名古屋大学大学院人文学研究科 履歴書 | 人文学研究科ホームページから所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、提出してください。 |
| (3) | 選択科目チェック表 | 人文学研究科ホームページから所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、提出してください。 |

| | | |
|-----|------------|---|
| (4) | 卒業（見込み）証明書 | <p>・ 証明書は必ず原本を提出してください。コピー、PDF 等のデータ、電子版を印刷したものや学位記の原本での提出は受けません。（出身大学が証明書の発行を行っていないため、証明書の原本を提出できない場合は、発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。出身大学が紙媒体の証明書発行を行っていない場合で電子版を提出する場合は出身大学から名古屋大学へ直接メールにて連絡してください。）</p> <p>・ 名古屋大学文学部卒業者または卒業見込者は不要です。</p> <p>・ 氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合、それを証明できる書類を併せて提出してください。</p> <p>・ 大学院修了者も学部の卒業証明書を提出してください。</p> <p>【日本の大学卒業の場合】</p> <p>卒業（見込み）証明書を提出してください。</p> <p>【海外の大学卒業の場合（中国を除く）】</p> <p>取得学位の記載がある卒業（見込み）証明書を提出してください。</p> <p>卒業（見込み）証明書に取得学位の記載がない場合には、学位取得（見込み）証明書も提出してください。</p> <p>【中国の大学卒業の場合】</p> <p>『中国高等教育学生信息网（CHSI）』の発行する「中国高等教育学位在線検証報告」（英文の Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate も可。）を取得し A4 判に印刷したものを提出してください。</p> <p>名古屋大学に在籍している大学院研究生、在籍した大学院研究生も提出してください。</p> <p>卒業見込みの場合は、大学発行の学位取得見込み証明書を提出してください。なお、合格した際には CHSI の「中国高等教育学位在線検証報告」を入学手続時まで提出してください。</p> |
| (5) | 成績証明書 | <p>・ 証明書は必ず原本を提出してください。コピー、PDF 等のデータ、電子版を印刷したものでの提出は受けません。</p> <p>（出身大学が証明書の発行を行っていないため、証明書の原本を提出できない場合は、発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。出身大学が紙媒体の証明書発行を行っていない場合で電子版を提出する場合は出身大学から名古屋大学へ直接メールにて連絡してください。）</p> <p>なお、中国の大学出身者は、『中国高等教育学生信息网（CHSI）』の発行する「中国高等学校学生成績検証報告」</p> |

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|---|------------------------|-----|---------------------|---|--|
| | | <p>(英文の Verification Report of China Higher Education Student' s Academic Transcript も可。) の提出でも認めます。</p> <p>・ 証明書は大学学部以上の全学期の成績 (大学に編入学している場合は, 編入学前の大学等も含む。) が記載されたものを提出してください。</p> <p>・ 名古屋大学文学部卒業者または卒業見込者は不要です。ただし, 編入学している場合は編入学前の大学等の成績を提出してください。</p> <p>・ 氏名変更等により, 証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合, それを証明できる書類を併せて提出してください。</p> <p>・ 大学院修了者も学部の成績証明書を提出してください。</p> | | | | | |
| (6) | 研究計画書 | 人文学研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし, A4 判用紙に片面印刷したものを提出してください。研究計画書で使用できる言語と文字数については, 志望する分野・専門の「注意点」 (18~20 ページ) に指示がある場合には, それに従ってください。志望する分野・専門の「注意点」に言語と文字数に関する記載がない場合には, 日本語 4,000 字以上または英語 1,600 語以上で記述してください。 | | | | | |
| (7) | 志望分野・専門の論文等 | <table><tr><td>①すでに卒業論文を提出している場合はその写し</td><td rowspan="3">1 部</td></tr><tr><td>②卒業論文に準じる論文があればその写し</td></tr><tr><td>③現在作成中の卒業論文の要旨 (日本語 4,000 字程度または英語 1,600 語程度, A4 判横書)</td></tr></table> | ①すでに卒業論文を提出している場合はその写し | 1 部 | ②卒業論文に準じる論文があればその写し | ③現在作成中の卒業論文の要旨 (日本語 4,000 字程度または英語 1,600 語程度, A4 判横書) | <p>提出は任意です。以下①~③のいずれかがある場合には A4 用紙に印刷して提出してください。</p> <p>〔注〕 1) ①~②について, 日本語または英語以外の言語を使用している場合には, その論文の要旨 (日本語 4,000 字程度または英語 1,600 語程度) を作成し合わせて提出してください。</p> <p>2) 提出した論文は口述試験の際に返却します。なお, 口述試験を欠席した場合は 2026 年 3 月 31 日までに文系教務課内人文学研究科入試担当で受領してください。期限までに受領しない場合は当方で処分します。</p> |
| ①すでに卒業論文を提出している場合はその写し | 1 部 | | | | | | |
| ②卒業論文に準じる論文があればその写し | | | | | | | |
| ③現在作成中の卒業論文の要旨 (日本語 4,000 字程度または英語 1,600 語程度, A4 判横書) | | | | | | | |
| (8) | 外国語検定試験・日本語能力試験の成績通知書の写し | 提出は任意です。 | | | | | |
| (9) | 学位授与証明書 | 出願資格 (2) の該当者は, 学位授与機構が証明したものを提出してください。 | | | | | |

| | | |
|------|------------------------------|---|
| (10) | (外国人のみ) 在留カードのコピー (両面) | <ul style="list-style-type: none"> ・日本国内に在住する外国人は、在留カードのコピー（両面）を提出してください。 ・日本国外に在住する外国人はパスポートのコピーを提出してください。 ・出願書類等には、これらの証明書等に記載された氏名を用いてください。 |
| (11) | 出願書類チェック表 | 人文学研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入し、提出してください。 |

(出願書類作成における注意事項)

出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めません。

6. 入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

出願時において国費外国人留学生の者は入学検定料は必要ありません。インターネット出願時に「検定料の免除について」をチェックしてください。また、他大学から受験する国費外国人留学生は在学大学が発行する国費留学生であることの証明書を提出してください。

なお、誤って「検定料の免除について」を選択し、入学検定料の支払いをせず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

※料金のほかに支払手数料が必要となります。

(2) 払込期間（日本時間）

2025年11月24日（月）から2025年12月9日（火）午後3時まで

(3) 払込方法

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。詳細については、16ページ「STEP 5（入学検定料の支払い）」を確認してください。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・Pay-easy対応銀行ATM

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還いたしません。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は銀行振込で行われます。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要しますので、入学検定料の納入は慎重に行ってください。

返還請求方法については、名古屋大学ホームページ (<https://www.nagoya-u.ac.jp>) →入学案内→入試情報を知りたい→大学院入試→入学検定料の支払い→入学検定料の返還について を確認してください。

7. 受験上の配慮を必要とする者の出願

病気、負傷、障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ文系教務課内 人文学研究科入試担当へ郵送にて相談してください。

(1) 相談の時期

2025 年 10 月 23 日（木）午後 4 時まで（郵送必着）

(2) 相談方法

以下の三点を 10 月 23 日（木）午後 4 時必着で**郵送**してください。なお、必要に応じてそれ以外に適宜書類を添付してもかまいません。

(ア) 受験上の配慮申請書（「MC2 期入学試験 志望分野・専門名」を記入し、病気、負傷、障がい等の状況、受験上の配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの（A4 判サイズで様式は自由です。）

(イ) 病気、負傷、障がい等に関する医師の診断書または障害者手帳等（診断書は受診日から 3 ヶ月以内のもの。写しでも可。）

(ウ) 病気、負傷、障がい等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書。）

(3) 郵送（連絡）先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700)

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期間終了日時までにメールにてお問い合わせください。

Email hum@t.mail.nagoya-u.ac.jp

8. 選抜方法

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類審査及び学力試験により行います。また、学力試験は学繫毎に一般入試及び社会人入試に分けて行います。

(2) 学力試験

① 学力試験の日程（一般入試）

| 一般入試 | 試験日 | 時間 | 試験科目 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|-------|
| | 2026 年 2 月 4 日（水） | 10:00～11:00 | 外国語試験 |
| | | 13:00～15:00 | 専門試験 |
| | 2026 年 2 月 5 日（木） または 2 月 6 日（金） | 2 月 4 日（水）に、書面および口頭で指定します。 | 口述試験 |

②試験科目（一般入試）

| 一般入試 | 筆記試験〔注〕 | | 口述試験 |
|------|--|------|---|
| | 外国語試験 | 専門試験 | |
| | 詳細は、22 ページからの 2026 年度人文学研究科博士前期課程【一般入試】試験科目をよく読んでください。 | | 1. 提出書類・筆記試験に関する試問 2. 博士前期課程において研究を遂行するにあたり必要な専門基礎知識，研究能力等に関する試問 |

③学力試験の日程（社会人入試）

| 社会人入試 | 試験日 | 時間 | 試験科目 |
|-------|-------------------------------------|----------------------------|------|
| | 2026 年 2 月 4 日（水） | 13:00～15:00 | 専門試験 |
| | 2026 年 2 月 5 日（木） または 2 月 6 日（金） | 2 月 4 日（水）に，書面および口頭で指定します。 | 口述試験 |

④試験科目（社会人入試）

| | | |
|-------|---|---|
| 社会人入試 | 筆記試験〔注〕 | 口述試験 |
| | 専門試験 | |
| | 詳細は、22 ページからの 2026 年度人文学研究科博士前期課程【社会人入試】試験科目をよく読んでください。 | 1. 提出書類・筆記試験に関する試問 2. 博士前期課程において研究を遂行するにあたり必要な専門基礎知識，研究能力等に関する試問 |

(3) 試験会場

名古屋大学文学部（別紙試験場配置図参照）

試験場の詳細は，試験当日，文学部玄関に掲示します。

- (4) 試験当日は，受験票を持参してください。受験票は 17 ページ「STEP7（受験票の印刷）」を確認し，各自で印刷してください。受験票の印刷が可能になりましたら，集合時間とあわせて出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。

9. 合格者発表

2026 年 2 月 19 日（木）午前 10 時頃（予定）に，人文学研究科ホームページ（<https://www.hum.nagoya-u.ac.jp>）において発表し，追って合格者には合格通知を郵送します。海外在住者の場合は，メールで通知します。

電話・電子メールなどによる可否の問い合わせには一切応じられません。

10. 入学手続

別途通知します。

11. 入学に要する経費

| | | |
|-------|-----------------|-------|
| 入 学 料 | 282,000 円 | (予定額) |
| 授 業 料 | 半期分 267,900 円 | (予定額) |
| | (年 額 535,800 円) | (予定額) |

なお、入学時または在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用されます。

〔注〕授業料は、春学期及び秋学期の2期に分けて、春学期分は5月に、秋学期分は11月に納入します。

12. その他

- (1) 願書受付期間内に願書類が全て揃わない場合は受理しません。
- (2) 受理済みの願書類は、いかなる理由があっても一切の修正等を認めません。また、口述試験後に返却する論文を除き、願書類は返却はしません。
- (3) 願書類に虚偽記載があった場合や必要事項を記載しなかった等の場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (4) 試験場へは、指定された時間までに到着し係員の指示を受けてください。（筆記試験場の入場開始は9:00を予定しています。）
- (5) 外国語試験及び専門試験の試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り受験を認めます。
- (6) 名古屋大学では、構内への車両の入構規制を行っていますので、公共交通機関を利用してください。
- (7) (特別に許可された場合を除き) 試験時間中に以下の機器等を使用した場合は不正行為となります。

携帯電話、PC、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートグラス、スマートウォッチなど）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー、電卓等の電子機器類

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとみなします。

- (8) 不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退室が命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (9) 受験のために短期滞在ビザ（査証）が必要な受験者は、各自でビザ（査証）を取得してください。

- (10) 名古屋大学（東海国立大学機構）では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しております。規程に抵

触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご注意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。なお、該当者には、個別に通知します。また、この場合も既納の検定料は返還しません。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

- (11) 住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しません。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

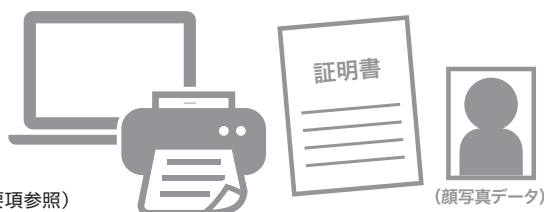
1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書（※詳細は各研究科学生募集要項参照）



(顔写真データ)

STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

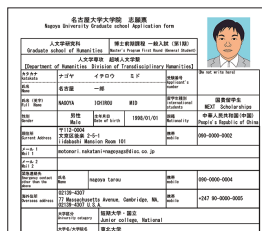


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれ
よりも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5



入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

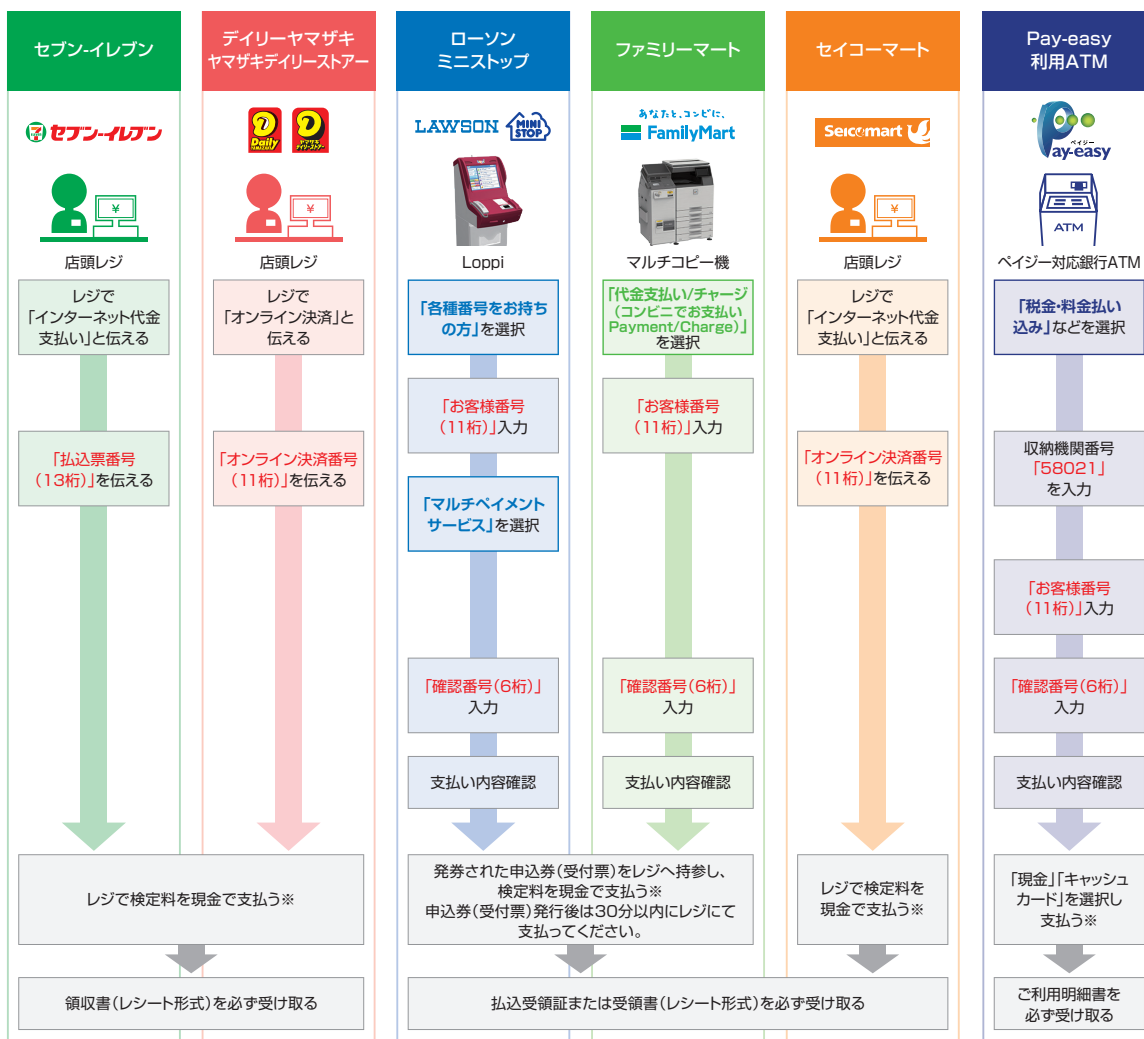
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
志願票 写真票
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
履歴書 など
- 出身大学等に発行を依頼する証明書
証明書



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

※海外から発送する場合は宛名シートと封筒の指定はありません。追跡可能な方法で発送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙に片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期
【一般入試・社会人入試】研究計画書に関する注意点

| | 分野・専門 | 使用できる言語 | 研究計画書の注意点 |
|----|-------------|-------------------------------------|--|
| 1 | 言語学 | 日本語を母語としない人は日本語，日本語を母語とする人は日本語または英語 | 日本語であれば 4,000 字程度で，英語であれば 1,600 語程度で書くこと（参考文献の部分は字数または語数として数えない）。希望指導教員（言語学分野・専門の教員のみ。複数でも可）も書くこと。 |
| 2 | 日本語学 | 日本語 | 研究背景，研究目的，研究の意義，研究方法を提示すること。 |
| 3 | 日本語教育学 | 日本語 | 4,000 字程度で入学後の研究計画について述べること。 |
| 4 | 応用日本語学 | 日本語 | 出願者の研究テーマに関する先行研究を挙げたうえで，特に主要な先行研究 3 点については，研究テーマとの関連性を具体的に記述すること。 |
| 5 | 英語学 | 日本語・英語 | 修士論文のテーマとなる英語の構文や言語事実について，どのような理論的枠組みに基づき，どのような方法で研究を進めるのか，現在進行中または提出済みの卒業論文があれば，それとの関係も含めて述べること。 |
| 6 | 英米文学 | 日本語・英語 | すでに提出した卒論，あるいは現在構想・執筆中の卒論の内容を 800 語以上の英語で，それに続けて修論の研究テーマについての見解を 2,000 字以上の日本語で書くこと。 |
| 7 | 英語教育学 | 日本語・英語 | 取り組もうと思っているテーマに至った背景（主要な関連文献のレビューを含む），研究目的，具体的な研究方法，予想される結果とその理由について，見出しをつけてわかりやすく説明すること。希望する指導教員（英語教育学分野・専門の教員のみ。複数でも可）がいる場合は記載してください。 |
| 8 | ドイツ語ドイツ文学 | 日本語・ドイツ語 | 中心となる主題を明確にし，その主題をどのような観点からどのようなアプローチ法で探求したいのかをできるだけ具体的に示すこと。ドイツ語の場合は 1,600 語以上。 |
| 9 | ドイツ語圏文化学 | 日本語もしくはドイツ語 | 入学後に取り組みたい研究内容がわかるように，3,000～4,000 字程度（ドイツ語の場合は 1,200～1,600 語程度）でまとめること。その際，以下の項目を含むこと：研究テーマ（タイトル）・研究の動機（卒業論文と関連がある場合は，それについても触れること）・先行研究・研究方法。 |
| 10 | フランス語フランス文学 | 日本語・フランス語 | 博士前期課程で予定している研究の内容を，2,000 字以上の日本語で書くこと。またそれと同内容のものを 800 語以上のフランス語でも書くこと。 |
| 11 | 日本文学 | 日本語 | 研究の目的と，そのためにどのような作業を計画しているか，4,000 字程度で説明しなさい。その際に，古典を読むことの意義について，必ず言及すること。 |

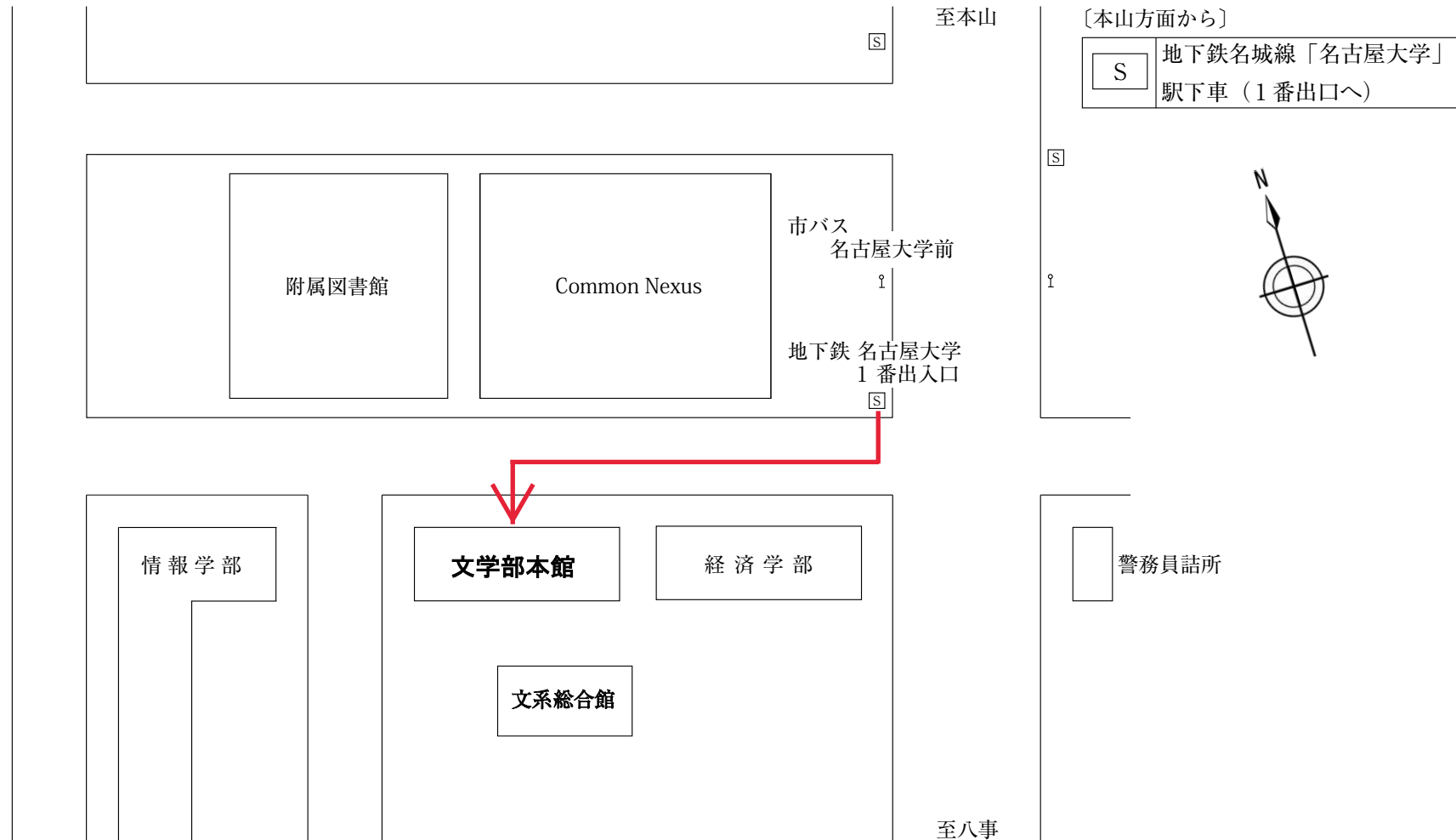
2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期
【一般入試・社会人入試】研究計画書に関する注意点

| | 分野・専門 | 使用できる言語 | 研究計画書の注意点 |
|----|---------|-----------------------------------|--|
| 12 | 中国語中国文学 | 日本語（例・引用などは中国語・英語も使用可。日本語訳をつけること） | 冒頭に「研究テーマ（タイトル）」を記し、「問題の所在」、「研究の目的および趣旨」、「研究の独創性」といった点を中心に、必要であれば例や文献名を示すなどして具体的に言及しつつ、明確に述べること。 |
| 13 | 哲学 | 日本語・英語 | これまでの研究内容を具体的に述べ、修士論文のテーマとの関係を明らかにしたうえで、今後の研究計画についても記述してください。全体で 2,000 字程度の日本語で執筆し、同内容を英語でも記述してください。 |
| 14 | 西洋古典学 | 日本語・英語 | 研究計画書では、西洋古典学に関わるどんな勉強をしてきたかも詳しく具体的に説明すること。なお研究計画書と併せて、これまでに書いた論文も、或いは卒論を作成中であればその要旨（4,000 字程度）も提出することが望ましい。 |
| 15 | 中国哲学 | 日本語 | 特になし。 |
| 16 | インド哲学 | 日本語・英語 | 主要な先行研究に言及しつつ、着想の背景、研究の目的、先行研究の問題点、本研究の方法等を提示すること。また、扱う古典文献を適宜引用し、自作の訳を添えること。 |
| 17 | 映像学 | 日本語・英語 | 研究の題目、目的、背景・動機、調査・分析の対象と方法、先行研究との違い、映像学や関連分野における位置付け、重要関連文献を、日本語（4,000 字以上）または英語（1,600 語以上）で明確に記すこと。 |
| 18 | 日本文化学 | 日本語 | 卒業論文もしくはそれに準じる論文（執筆中も可）について、主題、目的、意義、方法を説明し、具体的な作品等の分析を示すこと。また修士論文について、主題、目的、方法、見通しを説明すること。 |
| 19 | 文化動態学 | 日本語・英語 | 内容には希望される研究課題を挙げ、研究動機、研究目的、研究方法とその研究の意義について明確にしてください。 |
| 20 | ジェンダー学 | 日本語または英語 | 以下の 2 項目で構成すること。 （１）研究題目、研究目的、研究方法、主要参考文献からなる研究計画：2,000 字程度の日本語または 1,000 語程度の英語。 （２）（１）に記述した研究計画とこれまでに行ってきた研究（卒業論文など）との関連：1,000 字程度の日本語または 500 語程度の英語。 |

2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期
【一般入試・社会人入試】研究計画書に関する注意点

| | 分野・専門 | 使用できる言語 | 研究計画書の注意点 |
|----|-----------|---------|---|
| 21 | メディア文化社会論 | 日本語・英語 | 研究背景，研究目的，研究の意義，研究方法からなる研究計画を日本語（1,600 字以上 2,000 字以内）または英語（800 語以上 1,000 語以内）で述べ，その中で，卒業論文またはそれに準じる論文（現在執筆中のものを含む）と修士論文のテーマとの関係を明らかにし，重要な関連文献を示すこと。研究計画を日本語で書く場合は英語の要約（400 語以内），英語で書く場合は日本語の要約（800 字以内）を記すこと。 |
| 22 | 日本史学 | 日本語 | 研究の背景や目的・意義を研究史と関わらせて説明し，素材となる史料等の所在や研究方法などを具体的に示すこと。なお，最も核心的な史料を挙げ（可能ならば原文，翻刻を添付），その内容を踏まえて記述すること。 |
| 23 | 東洋史学 | 日本語・英語 | 研究題目，研究背景，研究目的，研究の意義，研究方法を提示すること。研究背景については具体的な先行研究を挙げたうえで，その問題点を指摘すること。 |
| 24 | 西洋史学 | 日本語・英語 | 研究計画を日本語で2,000字程度，さらにその要約を英語（300 語以内）で書くこと。研究計画を英語で書く場合は1,000 語以上，さらにその要約を日本語（1,000 字以内）で記すこと。 |
| 25 | 美学美術史学 | 日本語 | ①研究計画を2,000字程度で記す。②自らの研究に関わる重要文献を1点挙げ，その内容を2,000字程度で記す。（①②全体で4,000字程度に収める）。②について，西洋美術志望者は西欧語（英独仏伊）の雑誌論文または書籍内の論文または書籍を挙げる。日本東洋美術志望者は，日本語の雑誌論文または書籍内の論文または書籍を挙げる。こと。（中国語で書かれた論文・書籍は不可）。 |
| 26 | 考古学 | 日本語 | すでに提出した卒論，それに準じる論文，または現在進行中の卒論の内容を具体的に述べたあと，修論のテーマとの関係を明らかにしながら研究計画書を書くこと。 |
| 27 | 文化人類学 | 日本語・英語 | 卒業論文（現在執筆中のものを含む），またはそれに準じる論文の内容，それらと博士前期課程入学後の研究の関係を説明しつつ，研究計画書を作成すること。研究計画書には研究背景，研究目的，研究方法，研究の意義を具体的に記すこと。 |

名古屋大学大学院人文学研究科 試験場配置図



2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期【一般入試・社会人入試】試験科目

| 分野・専門 | 期日 ・ 時間 | | |
|---------------|---|---|-----------------------------|
| | 2 月 4 日（水） | | 2 月 5 日（木）または 2 月 6 日（金） |
| | 10:00～11:00 | 13:00～15:00 | 時間は別途指定する。 |
| | 外国語試験【 <u>一般入試のみ</u> 】 | 専門試験 | 口述試験 |
| 言語学 | 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，朝鮮・韓国語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし，日本語を母語としない者は日本語とする。 | 言語学の基本的概念・用語を正しく理解し，それらの概念・用語を用いて言語事象を適切に説明できるかを問う論述問題 | 分野・専門別に行う。 |
| 日本語学 | | 日本語学，古文解釈，日本語資料解説（上代から近現代に至るまでの日本語史，日本語学史資料についての基礎的知識を問う。） | |
| 日本語教育学 | 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，朝鮮・韓国語，日本語 の中から母語を除く 1 外国語を出願時に選択する。 | 日本語学や日本語教育に関する諸領域の知識を問う問題。 | |
| 応用日本語学 | | 日本語教育学，日本語学，第二言語習得研究，日本語教育方法論等に関する知識を問う問題 | |
| 英語学 | 英語 | (1) 専門英文の日本語訳 (2) 一般言語理論（統語論・意味論等に関する用語解説と具体例についての論述） | |
| 英米文学 | 英語 | 英文評釈，英米文学史，英作文（英文評釈では，英米文学作品のテキスト分析力及び英米文化の理解度を問う。） | |
| 英語教育学 | 英語 | (1) 英語教育学に関する理論や研究方法論などの専門知識を問う問題。 (2) 英語教育学に関する英語の文献を読み解き，解釈する力を問う問題。 | |
| ドイツ語 ドイツ文学 | ドイツ語 | (1) 独文解釈 ドイツ語の読解力を問う。 (2) 独文学史，独語学，ドイツ語作文 の中から 1 つを出願時に選択する。 ドイツ語圏の文学・文化についての基礎的な知識，ドイツ語に関する知識，ドイツ語による表現力を問う。 | |

- 注 1 **表中の太字**は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を選択科目チェック表に記載してください。
- 2 外国語試験及び専門試験は辞書の持ち込みはできません。

2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期【一般入試・社会人入試】試験科目

| 分野・専門 | 期日 ・ 時間 | | |
|-----------------|---|--|-----------------------------|
| | 2 月 4 日（水） | | 2 月 5 日（木）または 2 月 6 日（金） |
| | 10:00～11:00 | 13:00～15:00 | 時間は別途指定する。 |
| | 外国語試験 【一般入試のみ】 | 専門試験 | 口述試験 |
| ドイツ語圏文化学 | ドイツ語 | (1) 独文解釈 (2) ドイツ語圏の ①文学 、 ②芸術・大衆文化 、 ③語学（中高ドイツ語を除く）に関する論述問題 、 ④独作文の①—④の中から、出願時に一つを選択する。 | 分野・専門別に行う。 |
| フランス語 フランス文学 | フランス語 | (1) フランス語圏の文学またはフランス語学に関する複数の設問の中から 1 つを解答時に選択する（論述問題）。 (2) 仏文解釈（フランス語で書かれた専門性の高い文章を読解） | |
| 日本文学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語、日本語の中から母語を除く 1 外国語を出願時に選択する。 | 日本の古典文学評釈（写本あるいは版本の読解を含む。）、日本文学史についての基礎学力を問う。【一般入試のみ】日本語を母語としない者については、「写本あるいは版本の読解」を課さない。 | |
| 中国語中国文学 | 中国語、英語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | (1) 中国語学、中国文学に関する基礎知識を問う問題 (2) 中国語学、中国文学に関する専門知識を問う問題（ <u>複数の設問の中から、研究計画書に記した内容と最も関連の深い分野の問題を 1 つ解答時に選択する。</u> ） | |
| 哲学 | 英語、ドイツ語、フランス語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は英語とする。 | (1) 英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語 の中から、 <u>自身の研究計画を遂行するうえで中心的な読解対象となる外国語を 1 つ選択すること</u> 。例えば、プラトン研究ではギリシア語、ドイツ哲学研究ではドイツ語、フランス哲学研究ではフランス語、現代英米分析哲学研究では英語。（古典語選択者に限り、辞書は本学で用意する。） (2) 哲学の理解度を問う専門問題 | |
| 西洋古典学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | (1) 西洋古典学（西洋古典についての基本的知識） (2) 専門英文の読解 (3) 西洋古典語（ ギリシア語、ラテン語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 <u>古典語の辞書を当方で用意する。</u> ） | |

- 注 1 **表中の太字**は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を選択科目チェック表に記載してください。
 2 外国語試験及び専門試験は辞書の持ち込みはできません。

2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期【一般入試・社会人入試】試験科目

| 分野・専門 | 期日 ・ 時間 | | |
|-----------|---|---|-----------------------------|
| | 2 月 4 日（水） | | 2 月 5 日（木）または 2 月 6 日（金） |
| | 10:00～11:00 | 13:00～15:00 | 時間は別途指定する。 |
| | 外国語試験【 <u>一般入試のみ</u> 】 | 専門試験 | 口述試験 |
| 中国哲学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | 中国哲学史全般に関する知識を問う論述問題、原典資料解読 | 分野・専門別に行う。 |
| インド哲学 | | (1) 古典語（サンスクリット語またはチベット語から出題する。梵英辞典、蔵英辞典を当方で用意する。） (2) インド思想史に関する論述 | |
| 映像学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | (1) 映像批評理論、映像分析方法論、映画史に関する論述問題 (2) 映像批評理論、映像分析方法論、映画史に関する英文読解問題 | |
| 日本文化学 | | (1) 日本文化学に関する文献解読 (2) 日本文化学に関する論述問題 | |
| 文化動態学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語 の中から自分の関心・研究と最も関連の深い 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | 世界における人の移動、社会・文化の変動・変容に関連する知識を問う論述問題（問題は解答時に選択する。） | |
| ジェンダー学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | フェミニズム、ジェンダー、セクシュアリティに関する学術的知識と論理的思考力を問う論述問題を複数出題する。 | |
| メディア文化社会論 | | メディア、文化、社会についての基礎的知識、日本語・英語の読解力と表現力、抽象概念の把握と分析能力を問う問題 | |
| 日本史学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | (1) 日本史学の基本的な内容に関する論述試験 (2) 史料解読 ((1) ・ (2) は複数の小問から構成され、 <u>解答時に指示に従って選択する。</u>) | |

- 注 1 **表中の太字**は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を選択科目チェック表に記載してください。
 2 外国語試験及び専門試験は辞書の持ち込みはできません。

2026 年度人文学研究科博士前期課程第 2 期【一般入試・社会人入試】試験科目

| 分野・専門 | 期日 ・ 時間 | | |
|--------|--|---|-----------------------------------|
| | 2 月 4 日 (水) | | 2 月 5 日 (木) または 2 月 6 日 (金) |
| | 10:00～11:00 | 13:00～15:00 | 時間は別途指定する。 |
| | 外国語試験 【一般入試のみ】 | 専門試験 | 口述試験 |
| 東洋史学 | (1) 中国地域を研究対象とする者：中国語 (2) 中国以外のアジア地域を研究対象とする者：英語 (1)または(2)のどちらかを出願時に選択する。ただし、日本語を母語としない者は(1)(2)にかかわらず、日本語、中国語、英語の中から 1 外国語を出願時に選択する。 | (1) 東洋史学（アジア史）の基本的な内容に関する論述試験 (2) 中国地域を研究対象とする者：漢文文献解説 中国以外のアジア地域を研究対象とする者：英語文献解説 ※ (2) の選択については出願時に選択する。 | 分野・専門別に行う。 |
| 西洋史学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は英語とする。 | (1) 西洋史学（西洋史学についての基礎的な学力を問う、日本語による小論文） (2) 外国語（外国語による研究文献の読解力を問う。 英語、ドイツ語、フランス語の中から 2 外国語を出願時に選択する。 ） | |
| 美学美術史学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語の中から母語を除く 1 外国語を出願時に選択する。 | (1) 日本・東洋・西洋の美術に関する知識を問う問題（論述式） (2) 専門に関する外国語文献の日本語訳（ 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、漢文の中から 2 外国語を出願時に選択する。 ） ※英語を選択した場合は、西洋美術史志望者には西洋美術史に関する問題、日本東洋美術史志望者には日本東洋美術史に関する問題が出題されます。 ※ドイツ語、フランス語、イタリア語を選択した場合は、西洋美術史に関する問題が出題されます。 ※漢文を選択した場合は、日本東洋美術史に関する問題が出題されます。 | |
| 考古学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。 | 考古学の学史や方法論、遺跡・遺構・遺物についての基礎的知識を問う論述問題 | ※考古学は口述試験の時に実技試験も課すので実測用具を持参すること。 |
| 文化人類学 | | 文化人類学および関連領域における基本的な理論の知識、視点と問題意識、英文の読解能力と分析能力を問う自由論述問題 | |

- 注 1 **表中の太字**は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を選択科目チェック表に記載してください。
 2 外国語試験及び専門試験は辞書の持ち込みはできません。

出願資格の事前審査等について

◇出願資格（4）により出願する者の事前審査について

1．事前審査

出願資格（4）により出願する者は、次の書類を **2025 年 10 月 23 日（木）午後 4 時まで** に、文系教務課内 人文学研究科入試担当へ郵送し（簡易書留で封筒の表に「出願資格（4）の事前審査」と朱書）、出願資格の有無について事前審査を受けてください。証明書は原本を提出してください。

- ① 履歴書〔様式 1〕
 - ② 卒業証明書、卒業見込証明書、学位証明書のいずれか 1 つ
 - ③ 成績証明書（大学 1 年次以降の成績が記載されていること。大学に編入している場合は、編入前の大学等も含む）
 - ④ （外国人のみ）在留カードのコピー（両面）海外在住者はパスポートのコピー
 - ⑤ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形 3 号（12cm×23cm）のもの（410 円切手貼付））
- 提出書類に基づいて、事前審査を実施し、その結果を 2025 年 11 月 21 日（金）までに本人あて通知します。

2．事前審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に必着で**郵送**してください。

なお、出願の際には、出願手続書類に必要な証明書を改めて提出する必要があります。事前審査で提出された証明書を流用することはできませんのでご注意ください。事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておいてください。

◇出願資格（9）により出願する者の個別審査について

1．個別審査

出願資格（9）により出願する者は、次の書類を **2025 年 10 月 23 日（木）午後 4 時まで** に、文系教務課内 人文学研究科入試担当へ郵送し（簡易書留で封筒の表に「出願資格（9）の個別審査」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けてください。証明書は原本を提出してください。

- ① 出願資格審査願〔様式 2〕
- ② 出願を希望する分野・専門に関して〔様式 3〕
- ③ 高等学校等の卒業等以後の学歴を証明する書類
（卒業証明書、退学証明書、在学期間証明書等のいずれか 1 つ）
- ④ ③における成績証明書
- ⑤ （外国人のみ）在留カードのコピー（両面）海外在住者はパスポートのコピー

⑥返信用封筒（住所、氏名を明記した長形 3 号（12cm×23cm）のもの（410 円切手貼付））
提出書類に基づいて、個別審査を実施し、その結果を 2025 年 11 月 21 日（金）までに
本人あて通知します。

2 . 個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に必着で**郵送**してください。

なお、出願の際には、出願手続書類に必要な証明書を改めて提出する必要があります。
個別審査で提出された証明書を流用することはできませんのでご注意ください。個別審査
の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておいてくださ
い。

◇郵送先〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700)
名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

※出願資格の(4)に該当する者は、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2025年10月23日(木)午後4時
必着で本履歴書を郵送してください。

履 歴 書
(Curriculum Vitae)

| | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------|---|--|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------|--|-----------|------------|
| ふりがな(Furigana) 氏 名 Name in block letters | | Family Name | | | First Name | | Middle Name | | 性別 Sex | 男・女 M F |
| 生年月日 Date of Birth | 年 月 日 Year Month Day | 国 籍 Nationality | | | 志望分野・専門名 Proposed Field of Study | | | | | |
| 現 住 所 Present Address | | (〒 -) | | | | 電話番号 (Phone) | | | | |
| メールアドレス Email | | | | | | 携帯番号 (Mobile) | | | | |
| 日 付 Dates (Year Month Day) | | 年 数 Amount of Time (Years Months) | | 学 歴 School Career | | | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Entrance | | 小学校入学 Primary/Elementary School | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Graduation | | 小学校卒業 Primary/Elementary School | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Entrance | | 中学校入学 Junior High School | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Graduation | | 中学校卒業 Junior High School | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Entrance | | 高等学校入学 Senior High School | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Graduation | | 高等学校卒業 Senior High School | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Entrance | | 大 学 University, Faculty of | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Graduation | | 大 学 University, Faculty of | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Entrance | | 大学院 Postgraduate Master's Course | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | Completion | | 大学院 Postgraduate Master's Course | | | | |
| 年 月 日 | | 年 月 | | 現況(研究生等) Present Position (e.g. Research Student) | | | | | | |
| 教育年数計 Total | | 年 月 | | | | | | | | |
| 職 歴 Occupational Career | | | | | | | | | | |
| 期間 Period | | | | | | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | | | | | | |
| 上記のとおり相違ありません I affirm the above to be true. | | | | | | | | | | |
| 申請年月日 Date of Application 年 月 日 Year Month Day | | | | 申請者署名 Applicant's Signature | | | | | | |
| | | | | 氏 名 Name in block letters | | | | | | |

－ 注 意 事 項 Precautions －

- (1)黒インクまたは黒のボールペンで書いてください。 Write in black ink or black ball point pen.
(2)活字体を用いてください。 Use block letters.
(3)固有名詞は省略しないでください。 Do not abbreviate proper nouns.
(4)記入欄が足りない場合は、別紙(A4版横書)に記入し本紙とともに提出してください。 If there is insufficient space on the form, please use a separate sheet of A4 size paper and submit it together with this application form.

※ 募集要項に記載されている「出願資格」の(9)で出願しようとする者のみ、文系教務課内
人文学研究科入試担当あてに2025年10月23日(木)午後4時必着で郵送してください。

出 願 資 格 審 査 願

[博士前期課程]

| | | | | | | | | |
|--------------|-------------|--|--------|-------|-------------|-------|------|-----|
| 出願予定の分野・専門名 | | | | | | | | |
| ふりがな | | | | | ※外国人の場合のみ記入 | | | |
| 氏 名 | | | | | 国籍 | | 在留資格 | 有・無 |
| 生年月日 | 年 月 日生(満 歳) | | | | 性別 | 男 ・ 女 | | |
| 連絡先 (現住所) | (〒 -) | | | | | | | |
| 携帯番号 | - - | | 自宅電話番号 | () - | | | | |
| E-mail | | | | | | | | |

| 学 歴 | 期間 | | | | 学校名 | 在学年数 | |
|--------|----|---|---|---|-----|------|----|
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 小学校 | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 中学校 | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 高等学校 | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | | 年間 |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | | 年間 |

| 職 歴 | 期間 | | | | 勤務先 | 職務内容 |
|--------|----|---|---|---|-----|------|
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
| | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |

記入欄が足りない場合は、別紙(A4版横書)に記入し本紙とともに提出してください。

| | |
|----------|--|
| 現在の所属／身分 | |
|----------|--|

裏面につづく

該当する事項があれば記入してください。(参考となる資料を添付しても構いません。)

| | | |
|-----------------------------------|----------|--------------------|
| 業 | 発表, 発行年月 | 学術論文, 著書, 研究発表等の名称 |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 年 月 | |
| | 績 | 取得年月 |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| 年 月 | | |
| その他特記事項(出願資格に関係する事項があれば記入してください。) | | |
| | | |

記入欄が足りない場合は, 別紙(A4版横書)に記入し本紙とともに提出してください。

次ページ[様式3]に, あなたが出願を希望する分野・専門に関して, これまでに学習したこと, これから研究したいテーマを800字以内で書いてください。(Word等により作成した文書を印刷し, [様式3]に切り貼りすることもできます。)

氏 名

[出願資格審査願用]

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, evenly spaced squares formed by thin black lines. There are no margins, text, or other markings on the page.

2025年9月発行

名古屋大学文系教務課内人文学研究科 入試担当

〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4(700)

e-mail: hum@t.mail.nagoya-u.ac.jp

[Graduate School of Humanities, Nagoya University]
Student Affairs Section for the Graduate Schools of
Humanities,
Student Affairs Division for the Schools of Humanities
and Social Sciences,
Bunkei Sogo-kan Building,
Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 JAPAN

(出願書類の持参およびメールでの出願はできません。)